

米軍再編等に関する面談結果について

岩国市長及び山口県知事が防衛大臣と米軍再編等について面談しました。その概要は下記のとおりです。

記

- 1 日 時 平成 23 年 12 月 26 日（月） 15：40～15：55
- 2 場 所 防衛省 大臣室
- 3 面談者 防衛大臣 一川 保夫
山口県知事 二井 関成
岩国市長 福田 良彦

4 面談結果の概要

【確認文書と国への売却について】

- 県・市からの照会に対し、別添のとおり回答があったが、回答内容については、防衛大臣も同じ考えである旨の発言があった。
- この回答文書により、県・市のおかれている状況は、国においても十分理解され、今後、誠意ある対応をしていただけるものと判断し、県・市の基本スタンスを守っていただくことを前提に、愛宕山開発用地の4分の3の区域を国に売却する旨伝えた。
- 国からは、知事と市長の御理解と御協力に感謝するとともに、知事と市長の思いを受け止め、今後とも誠意をもって責任ある対応をする旨の発言があった。

【要望について】

- 岩国基地に係る騒音等の影響は、周防大島町や和木町にも及んでいることから、再編交付金の増額や延長、独自の特別措置法の新設等、基地周辺自治体の切実な要求を特別要望としてまとめ、国の特段の配慮を求めた。
- 市長から、海上自衛隊の岩国残留の早期決定について、国の配慮を求めたところ、防衛大臣から前向きにしっかりと対応してまいりたい旨の発言があった。

【渡辺防衛副大臣との面会について】

- 大臣との面会后、渡辺防衛副大臣と面会し、県・市の基本スタンス等に対する配慮をお願いした。